

市町村名	竹富町
------	-----

令和2年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	ドローンを活用した物資輸送実証事業	事業類型	<input type="checkbox"/>	産業振興
			<input checked="" type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	政策推進課	事業実施(予定)年度	令和元年 ~ 令和3年度
-------	-------	------------	--------------

事業内容

船舶欠航時などにおいて、離島住民等の命を守る医薬品や食料品等のドローン(無人航空機)による輸送手段を確保するため、下記の2点を行う。
 ・令和元年度事業で策定した実験計画に基づき、ドローン物流実証実験を行う。
 ・前述実験結果を踏まえ、運行条件、運用方針を定めた「民生化基本計画書」の作成する。

先導性に係る取組	<input type="checkbox"/>	自立性	<input checked="" type="checkbox"/>	政策間連携	<input type="checkbox"/>	離島活性化を担う人材の確保・育成
	<input type="checkbox"/>	官民協働	<input type="checkbox"/>	事業推進主体の形成	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度	<input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)
--------	------------------------------	------------------------------------------------

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 負担	<input type="checkbox"/> その他()
------	-------------------------------	----------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	11,092	49,810		
		(b) 予算現額	11,092	49,810		
		(c) 増減額(b-a)	0	0		
		(d) 繰越額	0	0		
		A. 計(b+d)	11,092	49,810		
		B. 執行済額	11,090	49,786		
		うち補助金充当額	8,872	39,828		
		次年度繰越額	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100%	100%			
予算の状況の説明		当初の計画通り、ドローン物流実証実験及び民生化自走につなげる「民生化基本計画書」の策定を行い、事業は適正に執行できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	令和元年度策定「実験計画」に基づいた、物資輸送実証実験の実行	目標	(1)	(3回)	()	()
		実績	1	3回		
	実験結果を踏まえ、運行条件、運用方針を定めた「民生化基本計画書」の策定	目標	(1)	(1)	()	()
		実績	1	1		
達成状況説明	○令和元年度実証事業において策定した実験計画に基づき、上原港-鳩間港間を3回(10月、12月、2月)の期間に分けて飛行実験を行い、最大10秒程の通信途絶といった一部課題はありつつも問題なく物資輸送ができることを実証した。 ○実験結果、運行条件及び運用方針を盛り込んだ「民生化基本計画書」を策定した。					

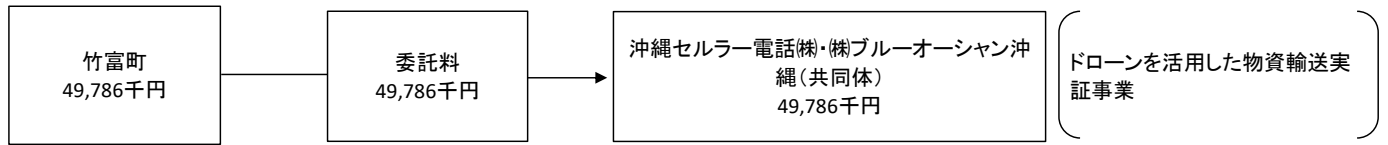
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(R1年度)	—	—	—	目標値(R3年度)
		離島間におけるドローン物流事業への参入事業者数	目標	()	()	()
		実績	0社			
進捗状況説明	○離島間物流事業を担う民間事業者が参入することで離島への物資輸送手段が確保されることから、基本計画策定後1年目(R3年度)の成果目標として参入事業者数1社以上を設定した。現在、3社の参入希望がある。 ○目標値達成にむけ、R3年度に事業全体を統括するドローン民間事業者の誘致を行い、さらに西表島内の売店等の事業者の参画を募る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○R3年度のドローン事業を民営化した場合、参入してもらった事業者においては、島嶼地域という側面を考慮すると、単独での体制は難しい。</p> <p>○継続して事業を推進するためには、島内でドローンオペレーター、ドローンのメンテナンス等に必要の人材が不足している。</p>	<p>○ドローンの物流においては、民間事業者の専門的な知識や技術を要することから、ドローン、物流、アプリ開発等に長けているそれぞれの事業者と共同体で体制を構築する必要がある。</p> <p>○事業者におけるドローンオペレーター、ドローンのメンテナンス等に係る人材の育成が必要である。</p>

今後の取り組み方針
<p>○八重山地区にある「中小企業家同友会」を通して参画の可能性調査を行うなど、参入事業者として可能性のある民間企業等に対しヒアリング等を行い、一つの共同体の構築に向けて取り組む。</p> <p>○国家戦略特区制度を活用のうえ竹富町を「ドローン特区」として位置づけし、ドローンに対するオペレーターの育成及びメンテナンスに必要な専門的な知識を町内で受講できる体制の検討を行う。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金		補助対象外経費
		充当額	市町村負担金	
49,786	49,786	39,828	9,958	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者はプロポーザルで選定しており、妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	県内に本事業に対応できる企業が乏しく、また継続事業としている為、1社見積としている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、精算時において確認を行い適正であった。